

## 第4回 『田辺市地域運営会議 分科会』が開催されました。

去る7月10～12日にかけて、「田辺市地域運営会議 分科会」が開催されました。地域運営会議は、「景観分科会」、「観光・文化分科会」、「情報分科会」の3つの分科会に分かれて行われました。当日は、「日本風景街道 熊野」の中での今後の取り組みについて活発な意見が交わされました。

### 地域運営会議での話題は。。。

地域運営会議では、平成19年4月から新しくなった運営体制の説明や、2月に実施されたシーニックバイウェイ北海道視察の報告が行われました。また、3月21日に行われた第3回推進会議の報告や、日本風景街道戦略会議により提出された、日本風景街道の提言（日本風景街道の実現に向けて～美しい国土景観の形成を目指した国民的な運動を～）の概要について説明が行われました。

意見交換では、『日本風景街道 熊野』としての今後の具体的な取り組み、地域運営会議の開催方法などについて話し合われました。

### ～ 議 事 次 第 ～

1. 開会
2. 議事
  - 1) 自己紹介
  - 2) 平成19年度運営体制図について
  - 3) 北海道視察の感想・報告について
  - 4) 第3回推進会議の報告
  - 5) 日本風景街道戦略会議での提言について  
 日本風景街道の実現に向けて  
 ～美しい国土景観の形成を目指した  
 国民的な運動を～
3. その他・意見交換
4. 閉会

### 開催スケジュール

- |     |                     |
|-----|---------------------|
| 10日 | 田辺市民総合センター<br>景観分科会 |
| 11日 | 田辺市役所<br>観光・文化分科会   |
| 12日 | 田辺市役所<br>情報分科会      |

## 事務局からこれまでの活動報告とお知らせを行いました。

### シーニックバイウェイ北海道視察について

今年 2 月に実施した、国内における取り組みの先進地「シーニックバイウェイ北海道」視察の報告を行いました。この中で、参加者に作成して頂いたレポートには、支援センターの必要性や地域の特徴を活かした目的・目標設定、テーマやストーリーづくりが必要だというご意見がありました。

### ロゴマークとフォトコンテストについて

昨年 11 月から今年 2 月にかけて募集した「日本風景街道 熊野」のロゴマークとフォトコンテストの最終結果についてお知らせしました。

結果については HP (<http://www.kumano-yorimichi.com/>) をご覧ください。

### 日本風景街道戦略会議での提言について

今年 4 月、日本風景街道戦略会議において取りまとめられた提言が、奥田委員長から冬柴国土交通大臣に手渡されました。今年度から正式な登録が開始されるなど、本格的な活動が全国的にスタートします。

## 参加団体の皆様から、沢山のご意見がありました。

参加団体の皆様から頂いた意見の一部を紹介いたします。

### 今後の活動について

「日本風景街道 熊野」として何ができるかについて様々な思いが語られました。

### 地域運営会議について

活動が 2 年目に入ったこともあり、地域運営会議をどう運営していくか、どういう体制が大切なのかということについて意見が挙がりました。

### シーニックバイウェイ北海道について

視察に参加した方々の報告では、北海道の取り組みのように、全体を一つに見せる仕掛けが必要だという意見が挙がりました。

## お忙しい中 会議に参加して頂きました。

### 【景観分科会】

NPO 法人花つぼみ  
四村川を考えるふれあいの会  
(社)和歌山県建築士会 田辺支部

### 【情報分科会】

NPO 法人情報発信センターたなべ  
NPO 法人もつれてネット南紀熊野  
紀州路田辺ハムクラブ

### 【観光分科会】

田辺市熊野ツーリズムビューロー  
田辺観光協会  
南方熊楠顕彰会  
田辺観光ボランティアガイドの会  
会津川納涼委員会  
NPO 囲炉裏

### 【事務局】

田辺市役所 建設部 管理課・建設課  
田辺市役所 企画部 広聴広報課  
田辺市役所 商工観光部 観光振興課  
田辺市役所 本宮行政局  
和歌山県 西牟婁振興局 事業調整課  
国土交通省 紀南河川国道事務所  
国土交通省 田辺国道維持出張所

各分科会ではそれぞれ活発な意見が交わされました。その内容を分科会ごとに紹介します。

## 景観分科会での主な意見

### 地域と行政との協働での進め方について

- ・ 現行制度で手の行き届かない部分を、日本風景街道でいかにカバーしていくかが重要。例えば、イベントでの保険の問題をクリアしたい。
- ・ 行政と地域は対等であるべきで、実践者（NPO等）と行政との協働を進めるための指針を作る必要がある。
- ・ 長い目で地域を育て、地域の士気を高めるという事を考えるべき。
- ・ いつまでも活動が続けられる仕組みや体制づくりを行いたい。



### 今後の活動について

- ・ 青少年育成補助金を用いて、親子参加型の釣りなどふれあいイベントをやりたい。
- ・ 田鶴交差点のスペースはもう少し改善を図っていきたい。大阪方面から白浜へ行く人々に対して、「美しい景色」と「驚き」を提供したい。
- ・ 建築士会では、何ができるか悩んでいる。田辺市に景観条例があれば方法があるのだけど・・・。

## 観光分科会での主な意見

### シーニックバイウェイ北海道について

- ・ 個々の活動は紀南のものも見劣りしていないが、違うのはプロデュース、見せ方、ストーリー設定のようなものが旨いと感じた。
- ・ 紀南でも全体を一つにみせる仕掛けが必要。
- ・ 紀南でも何か一つになって、みんなで汗をかくことが必要だと思う。



### 地域運営会議について

- ・ 日本風景街道は2年目に突入したので、それなりのステージが必要だと思う。
- ・ 今年度は具体的なメニューを出して、形に残るものを作っていきたい。
- ・ 暗中模索の中で気長に話しあっていく形でよい。
- ・ 道という媒体を通じて、どんな総合的な魅力アップにつながるかを考えて行くのがこの取り組みの本当のところだと思う。



### 今後の活動について

- ・ 各団体への声のかけ方、提案の仕方、物事の組み立て方の工夫が必要。
- ・ 田辺 IC 開通にあわせ 11 月に何かやるというのはよい。
- ・ 道を走っていて、田辺に來ると何かワクワクするような仕掛けをやっていきたい。
- ・ 団体自らが何をしたいか、この取り組みをどう活かしていくのかを考えるべき。
- ・ 日本風景街道という大きな施策に見合うものを持っていくべきでは。



## 情報分科会での主な意見

### 地域運営会議について

- ・ 会議の方法がマンネリ化しているので、司会や進行は活動団体の持ち回りでやってみてはどうか。
- ・ 上手い下手は別として、堅苦しくならない会議運営はコミュニケーションの場づくりでもあるし、いろいろと面白い話が出てくるかもしれない。
- ・ 会議を開催するという事実より、場所の提供や構築が重要。宴席でも良いと思う。人と人とが結びついて初めて日本風景街道であると思う。



### 南紀田辺 IC 開通に併せたマップづくりについて

- ・ 現在田辺の街を紹介するマップをつくっているが、11月の南紀田辺 IC 開通に間に合うように作り上げたい。
- ・ マップは2, 3年の周期で内容を更新していかないと、来訪者には不便になる。



### パソコンを用いたコミュニケーションについて

- ・ 紀南の地理的な背景から、様々な団体が集まる機会が制限されてしまう状況を踏まえ、パソコンを用いたコミュニケーションを考えてはどうか。
- ・ Linux の Ubuntu の紹介  
(NPO 法人つれもてネット南紀熊野より)



### 今後の活動について

- ・ 風景だけでなく、トンネル清掃やのり面の景観改善についても取り組んでいくべきではないか。
- ・ 沿道の廃屋も気になることから、ポイントを絞った景観診断で情報収集し、景観検討を考えていきたい。
- ・ 和歌山県より「紀の国森づくり基金」の募集があり、植樹への様々な提案がなされているが、実際の森づくりには植えた後の管理が大事。こうした不足の部分を日本風景街道熊野の枠組みの中で、議論していく事は出来ないか。
- ・ いやいやながらやることではなく、手作りマップのように楽しめる活動がよいと思う。多くの案を持ち寄ってその中から実施するものを見つけて行けば良いのではないか。
- ・ 田辺市の補助制度を利用して、並行して進めていければと思う。

「日本風景街道 熊野」の活動に関するご意見・お問い合わせは

「日本風景街道 熊野」推進協議会事務局

和歌山県 県土整備部 道路局 道路政策課 TEL : 073-441-3116 FAX : 073-441-3107  
国土交通省 紀南河川国道事務所 調査第二課 TEL : 0739-22-4564 FAX : 0739-26-1641